

平成 24 年 10 月 12 日

各 位

株 式 会 社 ア ク ロ デ ィ ア
 代 表 取 締 役 社 長 堤 純 也
 (コード番号：3823 東証マザーズ)
 問 合 せ 先： 取 締 役 副 社 長 國 吉 芳 夫
 電 話 番 号： (03) 5778-4600 (代 表)

特別利益の計上および通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成 24 年 8 月 28 日に公表しました持分法適用関連会社における第三者割当増資により、当期連結業績において、特別利益を計上いたしますので、お知らせいたします。

また、平成 24 年 4 月 13 日に公表した平成 24 年 8 月期(平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)の通期業績予想を修正しましたので、下記のとおり、お知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社の持分法適用関連会社であるGMOゲームセンター株式会社（以下、「GMOゲームセンター」という）において、有利子負債の削減及び資本の充実を図り財務基盤を強化するため、平成 24 年 8 月 29 日に第三者割当増資を実施いたしました。このため、GMOゲームセンターの純資産が増加し、当社の持分法適用に伴う負債が減少することに伴い、当期連結業績において特別利益として持分変動利益 289 百万円を計上いたします。

2. 平成 24 年 8 月期通期(平成 23 年 9 月 1 日～平成 24 年 8 月 31 日)の業績予想の修正について

(1) 個別業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	1,021	△197	△203	28	236.58
今回修正予想 (B)	622	△549	△552	△325	△2,760.03
増減額 (B-A)	△399	△352	△349	△353	△2,996.61
増減率 (%)	△39.1	—	—	—	—
(ご参考)前期実績(平成 23年8月期)	1,196	△420	△425	△886	△8,025.74

(2)連結業績

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	3,519	△183	△734	△437	△3,695.60
今回修正予想 (B)	2,961	△576	△1,166	△566	△4,801.44
増減額 (B-A)	△558	△392	△432	△129	△1,105.84
増減率 (%)	△15.9	—	—	—	—
(ご参考)前期実績(平成 23年8月期)	2,166	△618	△684	△804	△7,282.94

(3)修正の理由

個別業績につきましては、受託開発案件の獲得が見込みを下回ったことに加え、各サービスの売上が目標に達しませんでした。まず、スマートフォン向けのきせかえサービス「きせかえ touch」については、通信キャリアや Google 社のマーケットを通じて Android 端末向けに提供しており、プロモーションを推進する等、ユーザー数獲得とアプリダウンロード数の伸長に注力しておりますが、売上目標に達しませんでした。また、ソーシャルゲームについては、平成 23 年 12 月より G R E E で、J F A オフィシャルライセンスソーシャルゲーム「サッカー日本代表 2014 ヒーローズ」の配信を開始し、さらに平成 24 年 7 月からは、G ゲーにおいても展開を始め、好調に推移しております。順調に各会員数を伸ばし、今後さらなる成長を期待しておりますが、当期においては売上目標に達しませんでした。これらの結果、個別の売上高は 399 百万円の未達となる見込みです。

利益面については、売上に伴う原価、販売手数料等のコスト削減に努めましたが、受託開発の原価率が見込みを上回ったことや、スマートフォン向けサービスの拡充施策、ソーシャルゲームにおける複数プラットフォームでの展開等、今後の売上拡大に繋げるためのコストが増加したことにより、個別の営業利益が 352 百万円、経常利益が 349 百万円、当期純利益が 353 百万円下回る見込みです。

連結業績につきましては、上述の個別売上の未達に加え、韓国子会社のミドルウェア事業についても、新規開発案件において売上目標が未達となりました。また、株式会社AMS（以下、AMS）の行う E C 事業については、新規顧客の獲得や各既存顧客の売上が伸びており、商品取扱高は予想を超え達成しておりますが、AMS が自社で運営する通販サイトの売上未達により総額では売上が未達となりました。これらの結果、連結売上は 558 百万円の未達となりました。利益面については、個別売上の未達による利益減少に加え、韓国子会社における売上減少及び販売管理費の増加により、連結における営業利益は 392 百万円下回る見込みです。

また、持分法適用関連会社である GMO ゲームセンターについては、8 月より課金型タイトルを投入し、早期の収益化を目指しておりますが、当期においては持分法による投資損失が見込みよりも増加し、連結における経常利益は 432 百万円下回る見込みです。

なお、上記の「1.特別利益の計上について」に記載のとおり、特別利益として、持分変動利益 289 百万円を計上するため損失幅が縮小し、連結における当期純利益は 129 百万円下回る見込みです。

以 上

(注) 上記業績予想につきましては、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。